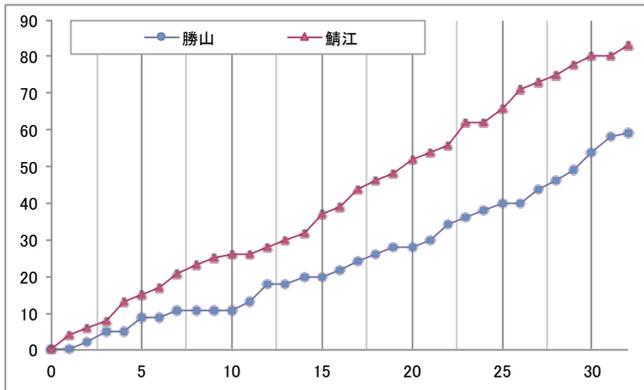




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																
会場	勝山市体育館ジオアリーナ																
日時	2016年8月23日(火)	16:10															
コート	KAコート 第6試合																
カテゴリー	女子選Mリーグ第3試合																
主審	古屋 勝司																
副審	安座間 裕哉																
TEAM A		TEAM B															
勝山	59	83															
(愛媛)	●	○															
	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>21</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	11	1st	23	11	2nd	16	16	3rd	23	21	4th	21	-			鯖江
11	1st	23															
11	2nd	16															
16	3rd	23															
21	4th	21															
-																	
		(福井)															

得点経過



BOXスコア

TEAM A		勝山						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	森 美月 (CAP)	×	36	1	14	5	4	
5	川野 あゆ	×	18	1	6	3	3	
6	細谷 愛菜	DNP	0	0	0	0	0	
7	西元 菜夏	×	0	0	0	0	0	
8	近藤 優衣	/	2	0	1	0	2	
9	東根 麻衣	/	1	0	0	1	2	
10	西岡 遙	DNP	0	0	0	0	0	
11	三瀬 百萌	×	2	0	1	0	5	
12	白石 美音	DNP	0	0	0	0	0	
13	井上 七海	DNP	0	0	0	0	0	
14	井門 愛海	×	0	0	0	0	1	
15	手塚 萌々香	DNP	0	0	0	0	0	
16	本多 日葉里	DNP	0	0	0	0	0	
17	近藤 茉奈	DNP	0	0	0	0	0	
18	河本 胡桃	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	篠原 希好							
合計			59	2	22	9	17	

TEAM B		鯖江						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	伊藤 優唯	/	0	0	0	0	0	
5	堂國 華音	×	7	1	2	0	0	
6	松倉 凜	/	2	0	1	0	2	
7	細川 綾音	/	9	1	2	2	1	
8	諸山 かのん	×	12	0	6	0	2	
9	戸谷 なつみ	/	0	0	0	0	2	
10	菅原 樹里 (CAP)	×	17	0	8	1	2	
11	宮本 翠	/	3	1	0	0	0	
12	富山 稜夏	/	8	0	4	0	0	
13	津持 美命	/	0	0	0	0	0	
14	萩原 紗喜	/	0	0	0	0	0	
15	片山 愛悠	×	11	0	3	5	2	
16	伊藤 萌唯	/	9	1	2	2	1	
17	白石 優菜	×	5	0	2	1	2	
18	齋藤 ほのか	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	小林 由美							
合計			83	4	30	11	14	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

1勝同士の対決となった開催地代表鯖江と四国ブロック2位勝山との一戦。1Q両者ハーフコートマンツールの守備。鯖江は#8#10がローポストからの得点を重ね、勝山は#4の1対1を中心とした攻めから得点をしていった。残り4分で勝山が4つ目のチームファウルを犯し厳しい守備ができなくなってからは、さらに鯖江がインサイドを攻め、1Qは23-11で鯖江がリードし終了。2Qも鯖江の強気な攻めが光り、残り1分50秒で勝山がまたもや4つ目のチームファウル。勝山は#4の1対1や3Pで応戦するが、defリバウンドを確実に鯖江がものにし、苦しい展開に。鯖江は#16がアウトサイドから3Pも決め一層攻めに厚みが増した。  
 後半は39-22からのスタート。勝山はオールコートマンツールのdefから入るが、鯖江#15が落ち着いてボールを運び、緩急あるドリブルでdefを突破していく。鯖江は選手交代を頻繁に行い、選手を上手く起用する。#12もローポストから得点を重ねた。勝山は#4のドライブやミドルシュートで得点するがオフェンスリバウンドが取れず、セカンドチャンスが少なかった。点差が徐々に広がり62-38で3Qを終了。4Qも鯖江はローポストでのシンプルなプレーで、得点を重ねる。一方、勝山は#4#6の巧みなステップからのドライブが攻撃の起点となった。勝山は終盤激しいオールコートdefを続けたが、鯖江が巧みにボールを回し、アウトナンバーから確実に決めていった。結局83-59で鯖江が勝利し1位通過を決めた。